



# む け 無 憂 華

浄土真宗本願寺派正念寺  
常陸太田市久米町20-1  
発行:正念寺護持会

電話:0294-76-2058  
FAX:0294-76-0169

## 日 本 列 島 と 震 災

今年、元日早々能登半島で大きな地震がありました。この新潟県から福井県にかけての北陸地域は、浄土真宗が盛んなところでもあり、浄土真宗本願寺派の寺院だけでも現在わかっているだけで503ヶ寺という大変な数の寺院が被害にあいました。当然ご門徒の皆様も甚大な被害を被っております。

また能登半島は、狭い半島のため元々アクセス事情が良くない地域であり、それに加えて道路に被害があった事も重なり、救援がなかなか迅速に進まないという問題もあったようです。その為に石川県知事からの声明で「道路の規制をさせていただき、個人的なボランティアの規制もさせていただいている」という発表もありました。

私たちが住む日本列島は、環太平洋火山帯と呼ばれる太平洋を取り巻く火山帯の上に形成されております。地球上で発生する地震の約90%は、環太平洋火山帯で発生していると言われております。当然日本列島でも地震が多いこととなりますが、私たちにも直接被害をもたらした「東日本大震災」以降でも、死者をもたらした地震は東日本大震災の余震や誘発地震と言われている、長野県北部地震・宮城県沖地震・福島県浜通り地震・長野県中部地震・千葉県東方沖地震・三陸沖地震・福島県沖地震等や、熊本地震・北海道胆振東部地震、そして今回の能登半島地震となり、死者が出なかった地震まで上げていけばきりがありません。この様な地震の他にも、今では水害・風害・雪害などもテレビ・新聞等をよく騒がせる災害です。



自然災害から逃れることは難しいことではありますが、自然災害の中にも、人災と言っても良いようなものもあります。例えば、令和元年の台風19号による水害は、堤防整備が少々後手に回った感が否めません。そのあたりは、国や県・市町村の更なる努力をお願いしたいところですが、私たち自身にも何が出来るのかを考えていくことも大事なことです。東日本大震災以降、絆を大切にとよく言われるようになりました。これは、どんな状況であっても人間関係さえちゃんとしていれば、苦悩の状況も何とか乗り切れると言うことなのでしょう。しかし東日本大震災でもそうですが、震災被害にあって、未だに行方不明の人がいる状況は、親族の人にとりいつまでも区切りがつかない事でしょう。

今後も予想される大きな災害としては、首都直下地震と南海トラフ地震が言われています。つまり、今後とも大きな災害に対する覚悟と備えは絶対に必要だと言うことです。今まで悲しい縁によって亡くなった人がいます。また、悲しい縁に会いながらも生きている私があります。私たちは、誰でも年をとり、病気にもなります。そして結果として必ず死に到ります。これは、私たちが生命を持って生まれてきた以上逃れられないことです。これが、お釈迦様の仰った「四苦八苦」の四苦になります。私たちの生命には、必ず限りがあります。だからこそ、お互いこうして生かされている生命を、精一杯生き抜くことが大切だと言うことなのでしょう。

お  
釈  
迦  
様  
の  
ご  
生  
涯

(第6回) ※仏教の教えを開かれたお釈迦様(仏陀)のご生涯を書いていきます。

お釈迦様の生涯 弟子のチュッラパンタカの話

チュッラパンタカ(周利槃陀伽・しゅりはんだが)は、先にお釈迦様のお弟子になっていた兄マカーパンタカ(摩訶槃陀伽・まかーはんだが)を頼ってお釈迦様の元へ行き出家しました。兄は、元々とても頭の良い人間だったのですが、弟は物覚えが悪く、自分の名前さえ覚えられず、いつも人に笑われていました。兄は、そんな弟を心配して、お釈迦様の教えを短い詩(三業に悪を造らず、生き物を悩ませず。正念に空を観ずれば、無益な苦は離れるべし)にまとめて、何とか弟に覚えさせようとしますが数時間も経つと覚えたと思ったことが、何が何だかわからなくなってしまったようでした。そうしてある時、チュッラパンタカは兄から見放されてしまいます。身寄りもなく、家事もできないチュッラパンタカは、兄から見放されて祇園精舎の外で泣き崩れておりました。するとそこにお釈迦様が現れ、「おまえは、私の弟子なのだから、私の元で修行すれば良い」と言ってチュッラパンタカに一本の箒を与えたと言われています。

お釈迦様は、続けて「塵を払わん、垢を除かん、と言って掃除をきなさい。」と伝えられました。

チュッラパンタカは、この短い言葉もなかなか覚えられませんでした。それでも一生懸命思い出しながら、ある時は仲間に教えられながら掃除を続けておりました。そして長い年月掃除を続けていくなかで、それまでであるとは思っていなかった場所にも塵や埃はあるのか、とビックリしてと言われます。そして、お釈迦様は精舎の塵・垢を払えといったのではなく、私自身の心の塵・垢を払えとおっしゃったのだ、と気付きます。自分は愚かだと思っていたが、塵や埃と同じように、自分の気づかないところに、どれだけ愚かなところがあるのかわかったものではなかった、と驚き今まで知らなかった自分の姿を知らされた思いでした。



この様子を見たお釈迦様は、大変喜ばれ精舎にいた弟子達に「自分の愚かさに気付く者は決して愚か者では無い。自らを省みずに、自分ほど賢いものはないと思っている人間の方が、どれほど愚かであろうか。チュッラパンタカは、悟りを得た。」と言われました。

誰よりも愚かだと思っていたチュッラパンタカが悟りを得たことに周りが驚いていると、お釈迦様が静かに言われました。

悟りには、多くのことを学ばなければいけないというのではないのです。ほんの短い教えの言葉であっても、その言葉の本当の意味を理解し、道を求めるならば、悟ることができるのです。」

私たちは、自分でも悪いと思うところがあることに気付くことはあるでしょう。しかし、自分の自覚している悪は、氷山の一角でしかないのです。自覚のないところで、どれほど重く、恐ろしい悪を造っているかを、仏教の真実と言う鏡によって見せて頂かなければならないのです。

チュッラパンタカは、その後お釈迦様の高弟として重んじられるようになり、阿弥陀経にも16人の高弟の一人として、「周利槃陀伽」とのっております。

(次号へ続く)



## 茨城県親鸞聖人ご誕生850年・立教開宗800年慶讃法要

来たる6月22日(土)に水戸市民会館大ホールに於いて、親鸞聖人ご誕生850年立教開宗800年慶讃法要がお勤めになります。私たちが住む茨城県は、親鸞聖人もおよそ20年に渡ってお住まいになった場所でもあります。そして、浄土真宗が生まれたと言われる年は、聖人がまさしく茨城にお住まいの時でした。それから数えて、今年がちょうど800年に当たります。その様な記念すべき年に慶讃法要がお勤め出来る事は、大変有り難い事です。是非沢山の皆様とご一緒に参加したいと思っております。

なお、以下のような形でバスを出す予定をしておりますので、ご利用ください。

日 程：6月22日(土)

募集人数：40名

会 場：水戸市民会館大ホール

集 合：正念寺(10:00出発)・瓜連等を経由します

交 通 費：3,500円(交通費・昼食代)



## 築地本願寺ご誕生850年・立教開宗850年慶讃法要

いよいよ4月26日(金)から29日(月)まで、築地本願寺において、親鸞聖人ご誕生850年・立教開宗800年慶讃法要が行われま正念寺では、27日(土)に参拝を行います。茨城は浄土真宗が生まれた場所でもあり、是非とも皆様と一緒に参拝したいと思います。

日 程：4月27日

募集人数：20名

集 合：水戸駅9時集合(改札内)

築地本願寺に11時位に到着予定。築地で昼食後、法要参拝。

法要終了後、常磐線にて帰宅。

費 用：3,000円(参拝懇志)・交通費・食事代実費



### 法句經の言葉

水の中の住居すみかから引き出されて  
陸の上に投げすてられた魚のように、  
この心は、悪魔の支配から逃れようとしてもがきまわる。

(中村元訳)

## 感謝録

昨年中に上げて頂きました寄付金を報告させていただきます。大変有り

難うございました。

夫の永代経として

金壺拾万円 匿名

母の永代経として

金壺拾万円 小澤 久様

※ 記載されていない方がありましたら、ご連絡ください。

**仏具磨き奉仕参加者** 令和5年11月14日(火)

常陸太田市

井坂 ヨシエ様 井坂 友之様

猪口 治三様 坂内 愛子様

那珂市

小坪 一恵様 橋本 貢様

安 二郎様



## これからの行事予定

- 3月21日(木)11時～ 久遠廟法要  
4月 7日(日)14時～ 花祭りコンサート  
4月 8日(月) 9時半～ 聞法会  
**4月27日(土)** 築地本願寺慶讃法要  
4月30日(火) 9時～ 清掃奉仕  
5月 8日(水) 9時半～ 聞法会  
5月28日(火) 9時～ 清掃奉仕  
6月 8日(土) 9時半～ 聞法会  
**6月22日(土)**13時半～  
茨城県親鸞聖人ご誕生850年  
立教開宗800年慶讃法要  
会場：水戸市民会館大ホール  
6月25日(火) 9時～ 清掃奉仕  
11時～ 位牌・塔婆炊上法要  
7月 8日(月) 9時半～ 聞法会  
7月30日(火) 8時～ 清掃奉仕  
8月 6日(火)13時半～ 仏具磨き  
**8月 9日(金)** 歡喜会法要  
10時～ 常陸太田地区  
14時～ 那珂地区

## ホームページのご案内

正念寺のホームページでは、今までの寺報やちょっとした仏教の話、寺の縁起などもあります。浄土真宗本願寺派正念寺で検索すると表示されます。

スマートフォンなどからは、右記QRコードを読み込んで下さい。



また、ホームページからYouTubeの正念寺チャンネルへも行けますので、今までの花祭りコンサート等を是非お楽しみ下さい。

## 住職雑感

災害は忘れた頃にやってくる、と言われてますが、最近では災害は直ぐにやってくる、という位から次へと私たちに災害が襲いかかっています。今年、元日早々から起きた能登半島地震。その余震が続く中で起きた、次の日の羽田空港での日航機と海上保安庁の飛行機との事故。海上保安庁の飛行機は、能登半島地震の被災地向けの物資を搬送する為に数度運航していました。更に言えば、この飛行機は東日本大震災の津波で仙台空港で被災し、復帰した唯一の飛行機だったそうです。

震災を通じて繋がれた不思議な縁と言えはいいのでしょうか。いや、海上保安庁の飛行機側では5人もお亡くなりになっているのですから、不思議な縁という言い方は不謹慎かもしれません。

日々の生活をしていると、それが当たり前と思ってしまう。しかし実は、それは決して当たり前ではなく、本当は有り難いことなのです。有ること難しい、つまりめったにないことに会う、奇跡ということ。

普段の毎日の生活を、私たちは当たり前と思っていますが、実は奇跡の連続と言う事です。毎朝目が覚めるのが当たり前、親といつでも会えるのが当たり前、そして生きているのが当たり前。そう思って生活していた事が、実は有り難い事なのです。改めて『有り難う』と言わせて戴きます。